

## 施策の柱5 安らぎと創造性のある教育環境の実現

障がいのある子どもが安全に安心して、また意欲的に学ぶことができるよう教育体制や学習環境の整備に努めるとともに、特別支援学校をはじめとする各学校が共生社会を推進するための教育環境のモデルとなることを目指します。

## 施策の内容

- (1) 共生社会のモデルとなる安全・安心な教育環境の整備（新規）  
障がいのある子どもの特性等に応じて、安全に安心して学ぶことができるよう教室不足への対応や防災機能の強化など、特別支援学校の教育環境整備に努めます。
- (2) 主体的、対話的で深い学びを支援する創造的な学習環境づくり（新規）  
障がいの状態、特性等に応じたICT機器の活用や授業のユニバーサル・デザイン化を推進し、より一層、主体的、対話的で深い学びができるよう学習環境を整備します。
- (3) 障がいのある児童生徒への地域支援の充実  
小・中学校等に在籍する視覚、聴覚、肢体不自由、病弱者である児童生徒に対する巡回指導等を行えるよう支援体制の構築を図ります。

## 展開する主な取組

- 障がいに配慮した教育環境の計画的な整備（新規） ※ 35 ページ参照  
障がいのある子どもが安全で安心な学校生活を送ることができるよう、教室不足への対応やスクールバスの整備、医療的ケアの充実など特別支援学校の課題に対応した環境整備に努めます。  
また、障がいのある子どもの自立と社会参加を目指して、全県的な視点から、高等部教育の改善と教育環境の充実に向けた整備に努めます。
- 防災機能の強化  
特別支援学校において、津波等による災害発生時に対応できるよう、障がいのある人の避難所としての機能充実や災害避難体制を強化するための整備の推進など、防災機能の強化に一層努めます。

- 主体的・対話的で深い学びを支援するICT機器を活用した学習環境の整備（新規）  
特別支援学校において、障がいの状態や特性に応じて主体的に情報を活用できるよう、デジタル教科書やタブレット型端末等のICT機器の計画的な導入に努めます。  
また、がん等の疾病により長期入院している児童生徒や、特別支援学校における集団での学習等の機会を確保するため、双方向による授業を可能とする学習環境の整備に努めます。
  
- 校内表示や授業のユニバーサル・デザイン化等による教育環境づくり  
障がいのあるなしにかかわらず、校内の各施設等の名称や機能を誰にでも分かり易くするための絵や記号等を用いた表示の在り方や、板書の改善、資料の図式化などによる授業のユニバーサル・デザイン化等について、小・中学校や高等学校等における教育環境の研究を推進します。  
また、その研究成果を事例集としてまとめ、共生社会に向けた小・中学校等の教育環境の整備に活用できるようにします。
  
- 巡回指導等による地域支援の充実  
小・中学校等に在籍する視覚、聴覚、肢体不自由、病弱者である児童生徒に対して、通級による指導の担当者や特別支援学校のコーディネーター等による巡回指導体制を整備し、支援の充実を図ります。

【展開イメージ】安らぎと学ぶ意欲にあふれた地域のモデルとなる教育環境

